

センターだより

第 203 号 2019 (令和元年). 9. 30

第 203 号

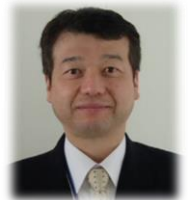
新潟市立総合教育センター

〒959-0492 新潟市西蒲区旗屋 585 番地 1

TEL0256-88-7444 Fax0256-88-7517

<http://www.netin.niigata.niigata.jp/>

きっかけはどこにでも…



新潟市立総合教育センター
所長 小川 裕一

私の教え子で、東京の有名ホテルに勤めている者がいます。彼は数年前、昇進と同時に系列のリゾートホテルに転勤しました。でも、同じホテルとはいえ、都会でのホテルマン経験はほとんど役に立たず、勝手違いの職場に戸惑い、深刻に悩む日々だったそうです。

ある日、気分転換も兼ねて、ホテル近くのトレッキングコースを歩いていた「これか!」と思い付いたことがありました。それは、「自分の脚で歩き、自分の目で見てきたことを、自分の言葉でお客様に提供したらきっと喜ばれるはず!」ということでした。

その後、彼は時間があると山へ出かけ、季節ごとに変わりゆく景色のベストポジションをチェックしたり、野草の名前やある場所を覚えたりしてネタを集めました。彼が自ら行って見て得た「今なら〇〇で野鳥の子育てが見られます」などの情報は、お客様に直接伝えられて大いに喜ばれたそうです。

そんなふうにしていたら、同僚や後輩が「今度、一緒に行ってもいいですか?」と同行するようになり、今では「花のことならAさん」などそれぞれが得意分野をもってお客様と接することができるようになったとのことでした。

誰かの何気ない思い付きから始まった行動、そこで生まれたちょっと前向きな気持ちが、とても良い成果につながった例だと思えます。そればかりか周囲の共感と同調を誘ってさらなる発展を生んでいたなんて本当に最高です。これは、「お客様の喜び」を彼が常に自分のこととして意識していたからであると同時に、同僚

の皆も同じ気持ちだったので共感できたのだと思います。その道の「プロ」としての気概を感じるとてもいい話だなと思いました。

私達も「子どもたちの輝く瞳」を意識して教育を追究する「プロ」です。また、工夫して実行すること、同僚性を発揮して事に当たることにおいては、日常的に普通にやっていることでもあり、まさに私たちの得意分野です。ですから、日々の実践の中で思いついた工夫、アイデアなど、もっと声に出して同僚と共有してみませんか?もしかしたら、そんなちょっとしたことが事態を劇的に変えるきっかけになるかもれません。

総合教育センターでは「グループで意見交換・協議する場面」を全ての研修講座で必ず設定しています。それは「各自の主体的な学びを促進するため」であると同時に、「互いの発想や考え方の交流により、刺激を受けたり、与えたりすることが一番の学びを生む」と考えているからです。同時に「協議・検討することの良さや価値を実感してもらおう」ことも重視しています。こうしたことが「さまざまな機会を捉え、同僚と協議・検討しながら事を前に進めることの一助になる!」と考えているところです。私たちの誰もが時に「先駆け・言い出しっぺ」に、また時には「良き同調者・アドバイザー・フォロアー」になれるよう、いつも心がけていきたいものです。そんな日常のほんのすぐ先に「子どもたちの輝く瞳」が必ずあるのだと思います。



中堅教諭等資質向上研修

中堅教諭等資質向上研修は、校内研修 15 日、校外研修 9 日からなる教職 12 年経験者が受講する研修です。新潟市教職員の資質向上に関する指標では、第 2 ステージ（習熟期）の最後、第 3 ステージ（充実・還元期）へと向かう時期に位置しています。今年度は 115 人と非常に多くの学校職員が受講しています。

校外研修のうち、教諭を対象とした「全体研修」では、校内におけるミドルリーダーとしての資質を身に付けるため、次のような内容について研修をしています。

新潟市の教育課題の現状と解決への取組、学校の管理運営、学校事故と責任、教職員の服務勤務、特別支援教育の現状と課題、学校組織マネジメントとミドルリーダーの役割、人権教育、同和教育、自律性と社会性を育む生徒指導、学・社・民の融合による教育、ライフプラン

また、「教科指導研修」では、自分の専門教科に関する授業改善を目標に、学習指導案の検討を少人数グループで行います。夏季休業中には、大学の教官と指導主事とが指導者となり、より良い授業を目指して検討を重ねました。9 月～12 月に公開授業と授業協議会が行われます。

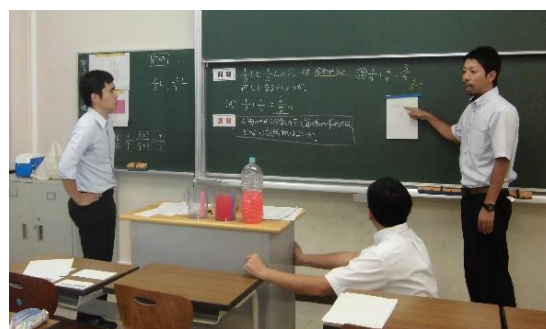
教科指導研修 振り返りアンケートより

- ・ 授業についてこれだけ丁寧に時間をとっていただけることを本当に幸せに思う。研修で得たことを大切に子どもたちと共にじっくりと考える授業にしたい。
- ・ 研究授業や意見をいただく機会がなく、中堅といっても授業力が身に付いていないことを日々実感していた。教科指導研修は貴重な機会である。
- ・ 相談しやすい雰囲気の中、具体的に手立てや展開について考え改善することができた。
- ・ 指導案について、大学の教官や指導主事から丁寧にご指導をいただいた。同じグループ内の校種の異なる先生方からのご意見は普段気付かなかった点もあり、とても参考になっ

新潟市教職員の資質向上に関する指標

(新潟市教職員研修案内参照)

	第1ステージ 習得期	第2ステージ 習熟期	第3ステージ 充実・還元期
授業力	初任者 5年目	中堅研	
組織マネジメント力			
人間力			



10月～1月実施の研修講座随時募集について

当センターの研修講座の中で、定員にまだ余裕があり、これから申込みが受講できる講座について紹介します。

受講を希望される場合は、最終ページの申込用紙に御記入の上、実施日の2日前（週休日を除く）までにFAXで送信してください。

番号	研修講座名	実施日時	場所
97	タブレットPCを使った授業づくり(A-1班)	10/17(木)	総合教育センター
	タブレットPCを使った授業づくり(A-2班)	10/18(金)	総合教育センター
	小学生向け学習ソフト(ジャストスマイルクラス)を使用して、タブレットPCの基本的な操作方法や授業での簡単な活用方法を学びます。タブレットPC初心者の方が対象です。		
	タブレットPCを使った授業づくり(B-1班)	10/24(木)	総合教育センター
	タブレットPCを使った授業づくり(B-2班)	10/25(金)	総合教育センター
	学習支援ソフト(スカイメニュークラス)を使用して、タブレットPCの基本的な操作方法や授業での簡単な活用方法を学びます。タブレットPC初心者の方が対象です。		
26	家庭、はじめの一步	11/20(水)	総合教育センター
	小学校、中学校の5年間を見通した家庭科指導の基本事項について講義・実技・演習を通して学びます。		
81	知って得する理科(B-2班)	12/6(金)	藤見中学校理科室
	中学校1分野「物理分野 音・圧力、力学的エネルギー保存の振り子、放射線測定等」での観察・実験を中心とした教材・授業づくりを学びます。		
33	板書・ノート指導、はじめの一步	12/10(火)	総合教育センター
	新潟市の授業づくりをベースに、板書やノート指導の基礎・基本、構造的な板書や板書とノート指導の連動など、講義や演習を通して、楽しく学びます。		
21	理科、はじめの一步	12/11(水)	総合教育センター
	2分野(生物・地学領域)の授業における、観察・実験の進め方や安全確保について実習を通して学びます。また、理科の授業づくりについて、グループワークで学びます。		
22	生活、はじめの一步	12/12(木)	総合教育センター
	具体的な活動や体験を通して学ぶ授業づくりや、児童の見取りと支援について学びます。		
19	社会、はじめの一步	12/16(月)	総合教育センター
	社会科授業のポイントや授業づくりについて、模擬授業や講義を通して具体的に学びます。また、研修内容を活かして、今後の授業を楽しく構想します。		
63	生活・学習意識調査活用研修(1班)	12/24(火)午前	総合教育センター
	生活・学習意識調査活用研修(2班)	12/24(火)午後	総合教育センター
	生活・学習意識調査の結果及び全国学力・学習状況調査等の学力テストの結果を基に、各校の担当者が自校の教育活動と運営活動を見直し、改善策を考えます。		
102	小学校におけるプログラミング学習(C班)	1/30(木)	総合教育センター
	マイクロビットやロボットなどの実機を動かす「フィジカルプログラミング」の操作方法と授業での活用方法を学びます。		

※ 随時募集については、原則として、FAXでのお申込みをもって受講可とします。ただし、定員を大きく超えるなど、受講をお断りしなければならない場合には、総合教育センターの担当者から前日までに電話でお知らせいたします。

別紙（総合教育センター研修講座追加申込用紙）

送り状は不要です。本用紙を直接お使いください。

総合教育センター

所長補佐 小林 圭一 宛

研修講座申込み

講座番号 _____

研修講座名 _____

ふりがな

申込者氏名 _____

所属校名 _____

職名 (○で囲む)	校 園 長	教 頭	主 幹 教 諭	教 諭	講 師	助 教 諭	養 護 教 諭
	養 護 助 教 諭	栄 養 教 諭	栄 養 職 員	事 務 職 員	司 書		
	その他 ()						

※ 講座実施日の2日前(週休日を除く)までに、本用紙でFAX(0256-88-7517)にてお申込みください。

※ AコースまたはBコース、1班または2班等がある場合、講座番号の欄にお書きください。
例) 「98-A」 「98-1」